

**令和7年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%				○	
我が国の言語文化に関する事項	81.2%		○			
話すこと・聞くこと	66.3%				○	
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 「書くこと」の領域では、目的や意図に応じて自分が伝えたいことを分かりやすく書くことができました。授業の中で、書く活動を多く取り入れたり、週末の作文の課題に取り組ませたりした成果です。
- 「読むこと」の領域では、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題が見られました。文章の叙述から事実と感想、意見などの関係を捉える力を伸ばしていきます。また、教科書以外の文章を読む機会を増やし、日常的に読解力の育成を図っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%					○
測 定	54.8%					○
変化と関係	57.5%			○		
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、全国平均を上回りました。中でも、数直線上に示された数を分数で表す問題が全国の平均正答率を大きく上回りました。日頃の授業において問題から数量関係を正しく捉えたり、話し合う活動を取り入れたりして理解を深めてきた成果です。
- 「変化と関係」の領域では、問題文の「何倍」「10%増量」の意味を正しく解釈することができず、数量関係を正しく捉えるところに課題が見られました。日常生活との関連の中から問題を見つけ解決する活動を取り入れることで、数量関係を正しく捉えられるよう授業改善を図っていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- どの領域についても、平均正答率を上回りました。特に、「生命」の領域では、植物の観察や実験の問題について理解することができていました。日々の授業において疑問・予想・実験・考察という学習の流れを大切にしながら授業を進めてきた成果でありますので、今後も継続して指導していきます。
- 水の蒸発をテーマに実験結果を基にした問題では、科学的用語の正しい理解に課題が見られました。日々の授業において新しく学んだ科学的な用語を積極的に使って考えをまとめるなど、授業改善を図っていきます。